rouses av Dialog

Dialog eLink: Order File History

COMMODITY DISPLAY CASE

Publication Number: 59-218113 (JP 59218113 A)

Published: December 08, 1984

Inventors:

SASAKI AKIRA

Applicants

TOKYO INSATSU SHIKI KK (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

Application Number: 58-092678 (JP 8392678)

Filed: May 26, 1983

International Class (IPC Edition 3):

A47F-003/00

JAPIO Class:

· 30.9 (MISCELLANEOUS GOODS--- Other)

JAPIO

© 2008 Japan Patent Information Organization. All rights reserved. Dialog® File Number 347 Accession Number 1506513

Claim 1:

A product display case, comprising

a case body enclosing product content areas that are elongated in shape front-to-back with rails placed along inner surfaces of either side panel thereof, and are placed in an appropriate number left-to-right [within the case], and a having a linking means placed at the front and back ends of the outer surface of each outer side panel of the product content areas, capable of linking in both a left-right direction and up-down direction,

and a product retaining fixture within the product content area of [each] said case body, having a rotating piece supported so as to turn freely in the supporting frame of the retaining body, whereby a leaf spring having its forward end fixed to the front end of said product content area can be wound to a particular spring pressure, and the retaining body is able to slide backward along each rail against the recovery force of said leaf spring.

(B) 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開 昭59—218113

⑩公開特許公報(A)

⑤Int. Cl.³
A 47 F 3/00

識別記号 庁内整理番号 7332-3B ⑥公開 昭和59年(1984)12月8日

発明の数 1 審査請求 有

(全 6 頁)

60商品陳列ケース

22出

②特 願 昭58-92678

願 昭58(1983)5月26日

@発 明 者 佐々木明

東京都足立区千住東 2 —21— 2 —1110

①出 願 人 東京印刷紙器株式会社 東京都中央区八丁堀4-5-5

①代理人 弁理士 中村政美 外1名

8ff am :

1. 発明の名称

間品削列ケース

2. 特許請求の顧問

1. 左右方向へ過数列級けられた前後方向へ長 い個品取前部の各角報内面にレールを使け、且つ 間品取前部の各角報列面の前級機能に左右方向 及び上下方向に共々連結可能な連結手段を設けて 成るケース本体を形成すると共に、候特体の支持 枠内に回転自在に支持された回転時が前端が前記 さに参考して成る耐品保持具を、前配ケース本体 の商品収前部内に、低バネの保費包ェガに成して をいた他では他のでは、低バネの保費包ェガに成して をレールに抱つて被増方向へスライド自在に嵌金 せしめたことを特象とする商品級利ケース。

3. 発明の詳細な説明

の体数も感かつた。

フク容容、毎等に収納された飲料品、湯珠食品、 化粧品等の商品を立数保持して厚頭質列する際化 使用される面品機列ケースに関するものである。 この種の商品候列ケースは、従来からいくつか 提供されているが、いずれもケース本体の商品収 前部内に商品を立数保持した際に、商品が多いと きは倒れないが、商品が少なくなると倒れ易く、 不安定で確然と練列され、所費者の席見重数を被 減させて販売使継に実施をきたしていた。また、 オース本体の商品収納部の外側板に左右方向及び ト下方面への運動平段が開せられておらず、解果

本祭明は、主としてガラス強、硬質のプラスチ

本発明は、前述のような問題点を解消するため に案出されたもので、左右方向へ運数列設けられ

を多量に練列する際に不便であり、それに外視上

た前後方向へ長い商品収納部の各領復内面にレー ルを設け、且つ随品収納部の各外側板外面の輸後 继承中方方方向及び上下方向扩大在连续可能在连 結手段を投けて成るケース本体を形成すると共に、 保持体の支持枠内に回転自在に支持された回転期 に消燥が前配商品収納部の前端部に固定された板 パネを弾圧自在に参考して成る商品保持具を、前 配ケース本体の商品収納部内に、板パネの弾機復 原力に抗して各レールに沿つて後露方向へスライ ド自在に依装せしめることにより、簡品の多少の 如何に拘わらず、商品を確めて安定的且つ益然と 歳列できるようにして、消費者の購買意欲をそそ つて販売促進を着しく図れるようにすると共に、 必要に応じて左右方向へ複数列及び上下方向へ複 数段順次連結できるようにして、商品を多量に疎 別する際に頗る値利ならしめ、更に外観上の体験 も良好となるような商品線列ケースを提供するも

のである。

以下、本発明の一実施例を図面に述いて説明する。

本発明の商品級列ゲースAは、第1図乃至第3 図に示すように、ケース本体1と、このケース本体1の内部に商品Mを立設保持する商品保持具2 とから健康されている。

延長した部分の後振り化は、斜面化粧品保持具2 の後方へのスライド係止倒の必備ストッパー10 が郷出された開品保持単2帳込用の軽込片11%. 各レール5との相互側に切欠削12が取けられ、 且つ左右側方へ拡続自在になるよう突改する。そ れに、一方の商品収納部3の外側板外面の前端部 及び後端間には左右連結用の平面御形状の連結準 起13を相反する前後向きに姿散し、この前後の 連結突起13相互側には左右連結用の段級14を 設け、他方の商品収納部3の外領板外面の前端部 及び後端部には前記各連結突起13に形状、方向 を対応させた左右連結用の連結機器15を凹砕し。 この前後の連結解即15相互間には左右連結瞬に 前配設部14上に重ねる実片16を設け、また各 連結突起13の基部及び各連結漏部15折倍の最 部には上下方向略中央部を閉塞してボール(後述 する) 上下両方から登み可能にした 上下連結用の

連結穴17 を散ける。 足に、 各幅品収的部3の前 収18 削力には、 減列する隔品的の結解、広告文 字、 編稿等を設示したラベル19を進品む圧在一 別の差込行20付き広告収21を設け、且つ各間 品収的部3の納端研返面にはゴム製の廃止片22 を実改するように形成されている。

断して、静配磁品収納部3は、ケース本体1の 左右方向へ 3 河道設するように展明点が設示され ているが、これに限らず、ケース本体1の左右方 向へ1列設けたり、歳は3 列以上選股したりして も良い。また、各結品収納部3 の時頭部を駅いた 底回、また、各結品収納部3 の時頭部を駅いた 原本では開放するように設示されているが、底板で 閉塞するようにしても良い。

一方、前配関品保守具 2 は、 依向きコ字形状の 支持枠 2 3 の質質 仮 2 4 前後方向略中央部には下 向きの軸受解 2 5 を成け、且つ支持枠 2 3 の前版 2 6 下部外面には仮パネ神連用の正面角筒状の案 内部27を突放し、更にこの案内隔27及び支持 枠23の両側板24の下部外面には前配シース本 体1のレール5下面スライド用のレール受け28 を設けて成る保持体23を形成し、この保持体2 9の支持枠23円には前端配近後に個距孔30付 き調巻状の板がよ31が郊圧自在に告報された回 転動325、その両側面中央部の原転輪33が前 能受。第25に関始自在に支持されるより形成され についる。

そして、前述のように形成されたケース本体1 の名館品収納服3円に商品保持具2 と、回転勤3 2の回転輸33が左右側方へ拡削した合帳込片1 1の切欠部12下方から嵌込まれるよう、各レール5上間に回転動33を位置させ、 且つ各レール5下間で保持体23のレール受け2 まを位置させた後、協定契超8に仮がよ31の固 安礼30が固定されて支持65両に要がよ31の固 安礼30が固定されて支持65両に要がよ331の の前端部が支持されるよう、板パネ31の弾機復 版力に抗して各レール5に沿つて後端方向へスラ イド自在に嵌載せしめたものである。

本発明は、前途のように構成したから、使用時 においては、据2回に示すようにケース本体1の 各部品取前部3円の前収18と商品保料20份 特体29の前収26との相互関に改領の商品Mを 板ボネ31の列業復展力に核しながら前方から使 方へ順次立役して、商品保持員20板パネ31の 外裁復展力で合品品Mを立数保持することにより、 商品Mをケース本体1の各語品収前第3の前方か 与順次収出了作れ、残存商品Mを板パネ31の外 被復集力で立数保持しながら間急保持具2が前方 へ順次エライドするため、商品Mの多少の如何に 持わらず、商品Mを延めて安定的且で繋放と減利 することができる。したかつて、商品Mが前方か ら見易く、且で商品Mも収出しあいため、前受者

の購買意欲をそそつて販売促進を奪しく図ること ができる。

しかも、ケース本作1の各階品収的部3の質数 4 内間に設けられたレール5 上面に商品保持具2 の回転期3 2 回転触3 3を位置させ、且つレール 5 下前に保持体2 9 のレール受け2 6 を位置させ て、レール5 を回転期3 2 の回転触33 と 保持体 2 9 のレールを18 とで上下から被押するよう にしたことによつて、商品保持具2 のスライドが 顔も円身である。

また、ケース本体1の各階級収納服3の外側収 4外頭の前後機能に左右方向への連轄手段として 連載実超13及び連結解部15を設けたことによ り、第4回及び前5回に示すようにケース本体1 の一方の階級収納前3外側収4の各連結実起13 とケース本体1の他方の開級収納 63外側収40 会連結構部15との上方からの嵌合手段によつて、 複数側の問品被列ケースA1、A2、A3を左右 方向へ複数例に顕次連結できるため、隠島M化多 量に顕列する際は極めて便利であるばかかりでなく、 各間品線列ケースA1、A2。A3の前面が確実 に揃うので、外観上の体数が顧る真好である。こ の場合、ケース本体1の一力の問品収削部3外 領収4の各連結契約13相互間に設けられた設断 14に、ケース本体1の個点収削53外 収4の各連結構第15相互関に設けられた決片1 8を裏加ることによって、各間品線列ケースA1。 A2、A3の上間が確実に揃りので、外級上の体 歌が一度更見をなる。

それに、ケース本体1の各層品収削部3の外側 収4外面の前装増那に上下方向への連絡手段とし て連絡欠17を設けたことにより、第6図に示す ように上下設のケース本体1の相対向する連絡欠 17にボール54を突々進込むことによって、彼

特問8259-218113(4)

数個の開品線列タースA1,A2,A3を上下方 向へ複数度に順次連結できるため、前途のような 左右方向へ連結したものと同様に、 組品Mを多量 に成列する製は極めて便利であり、しかも各個品 線列タースA1,A2,A3の前面が確実に講う ことと、各連続で17の上下方向略中央部を閉塞 してポール34の高さを一定にすれば、各個品度 列タースA1,A2,A3の側面が同一になるこ ととによつて、外根上の体験も順名良好となる。 更に、複数個の脳品液列タースA1,A2,A 3 を左右方向へ複数列及び上下方向へ複数後に同 時に順次連結でき、且つ一層多世の脳品Mを規列・

以上観明したように、本発明によれば、簡品の 多少の如何に拘わらず、簡品を確めて安定的且つ 盤然と確別できて、消費者の購買意欲をそそつて 要素優進が着しく図れると共に、簡高保料具のス

できるのは勿論である。

ライドが顔の円前であり、しかも必要に応じて左 右方向へ裏数列及び上下方向へ退数数に膜次連結 できて、耐価を多度に減列する限に値めて便利で あり、更に外頭上の体数も顔る良好である等の結 効果が得られる。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の一実施例を示すもので、第1図 に対視限、第2図は第1図のⅡ - Ⅱ 矢根線断周図、 第3図は第1図のⅡ - Ⅲ 矢根線断周図、第4図は 左右方向へ連結した状態の正面図、第5図は同年 個似、第6図は上下方向へ連結した状態の正面図 である。

A, A1, A2, A3……間岳城列ケース、M ……調品、1……ケース本体、2……脛岳候押具、 3……階岳収約部、4,24……列収、5……レ ール、6……支持片、7……節馴ストンパー、8







